

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年2月13日

木曾地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	15	課題区分	B		
実施機関	木曾青峰高等学校			担当	所属 木曾青峰高等学校
事業名	高校生による木曾地域農林業振興作業着デザインプロジェクト			電話	0264-22-2119
				E-mail	seiho-hs@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	機能的でかつファッション性を取り入れた作業着をデザインし、新しい農林業スタイルを提案、地域の農林業振興につなげる。			
	現状と課題	木曾地域では高齢化率が40.3%(2017年10月現在)と県内トップで、農林業さらには土木業の後継者不足が深刻な課題となっている。全国においても、39歳以下の農業従事者は5%ととても低く、農林業に携わる担い手育成が重要となっている。そこで、木曾青峰高校森林環境科では、若い人達に農林業へ関心を持ってもらい、さらに現在の農林業従事者のモチベーションをあげるため、機能的でかつファッション性を取り入れた作業着をデザインし新しい農林業スタイルを提案、地域の農林業振興につなげようと考えている。			
	内容 (変更後の内容)	<p>○高校生がデザインした作業着の試作品製作 生徒が作業着の企画デザインをし、試作品を製作する。 なお、作業着は学校林産ヒノキの皮や自然素材で染色する。</p> <p>○地域内外の各種イベントにおける紹介及び普及 作業着を生徒自らが着用し農林業の作業に取り組むとともに、木曾青峰高校の学科展等行事、地元農業者に向けた健康と食と農の集い等でPR、さらに木曾川下流域市町村の産業祭りにおいて木曾地域の農林業の魅力PRする。</p>			
	事業期間	平成30年9月		～	平成31年2月
	成果目標 (成果指標)	木曾地域オリジナルの作業着ブランドを作ることで、地域産業従事者の意欲を盛り上げるとともに、高校生自らが持つ課題意識や提案を具体化する経験をすることで、将来の地域を担う力を育てる。			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	作業着試作品製作	生徒デザインの作業着の試作品製作	588,600	40着	
	藍染染料	生徒による草木染の実施	33,480	紺屋藍・ソーダ灰・ハイドロコク等	
	合 計		622,080		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	<p>○本年度4月本校生徒より機能性・デザイン性の高い作業着デザインの提案。</p> <p>○6月生徒デザインの本校森林環境科のロゴマーク完成。</p> <p>○9月本事業着手。学科生徒103名に作業着についてのアンケート実施。10月生徒デザイン完成。</p> <p>○10月“名古屋城秋の陣”にて本活動を全国から集まる観光客に向けパネル紹介</p> <p>○12月作業着完成(外部業者依頼)</p> <p>○1月生徒による檜皮染め・藍染</p> <p>○2月木曾合同庁舎「健康と食と農のつどい」にて報告・発表</p> <p>○2月木曾青峰高校学科展にて地域に紹介</p>		<p>○本プロジェクトが長野県農業クラブ県大会プロジェクト発表部門で最優秀賞受賞。</p> <p>○日本学校農業クラブ機関紙「リーダシップ」にて生徒原稿が採用され、本プロジェクトを全国の農業高校生に紹介。</p> <p>本事業を通して、地域の産業振興を共通目標として、様々な得意分野を持つ生徒達が協力しながらものづくりに取り組むことができた。</p> <p>この活動を地域内外に伝え、木曾地域の高校生の底力をPRすることができたと思う。</p>		<p>○ 期待以上</p> <p>● 期待どおり</p> <p>○ やや下回る</p> <p>○ 期待以下</p>
今後の方向性	本校3年生が発案、デザイン、染色試行実験等に取り組み完成した作業着は、卒業記念品として後輩に引き継ぎ、今後とも木曾の農林業をPRする実践的な機会に活用していきたい。完成した作業着についても、改善点等意見を集め、より実用的なものにするための研究を重ね、地域の農林業者に選ばれるようなものとした。最終的には、若者をはじめ広い世代が輝ける、木曾の農林業の新しいスタイルの提案につなげたい。				